

【参考】 民法における、相続できる親族の範囲と順位

配偶者は常に相続人

第1順位・・・子（養子を含む）

以下直系卑属（代襲相続のみ）

第2順位・・・父母（子も、その代襲相続人である直系卑属もない場合）

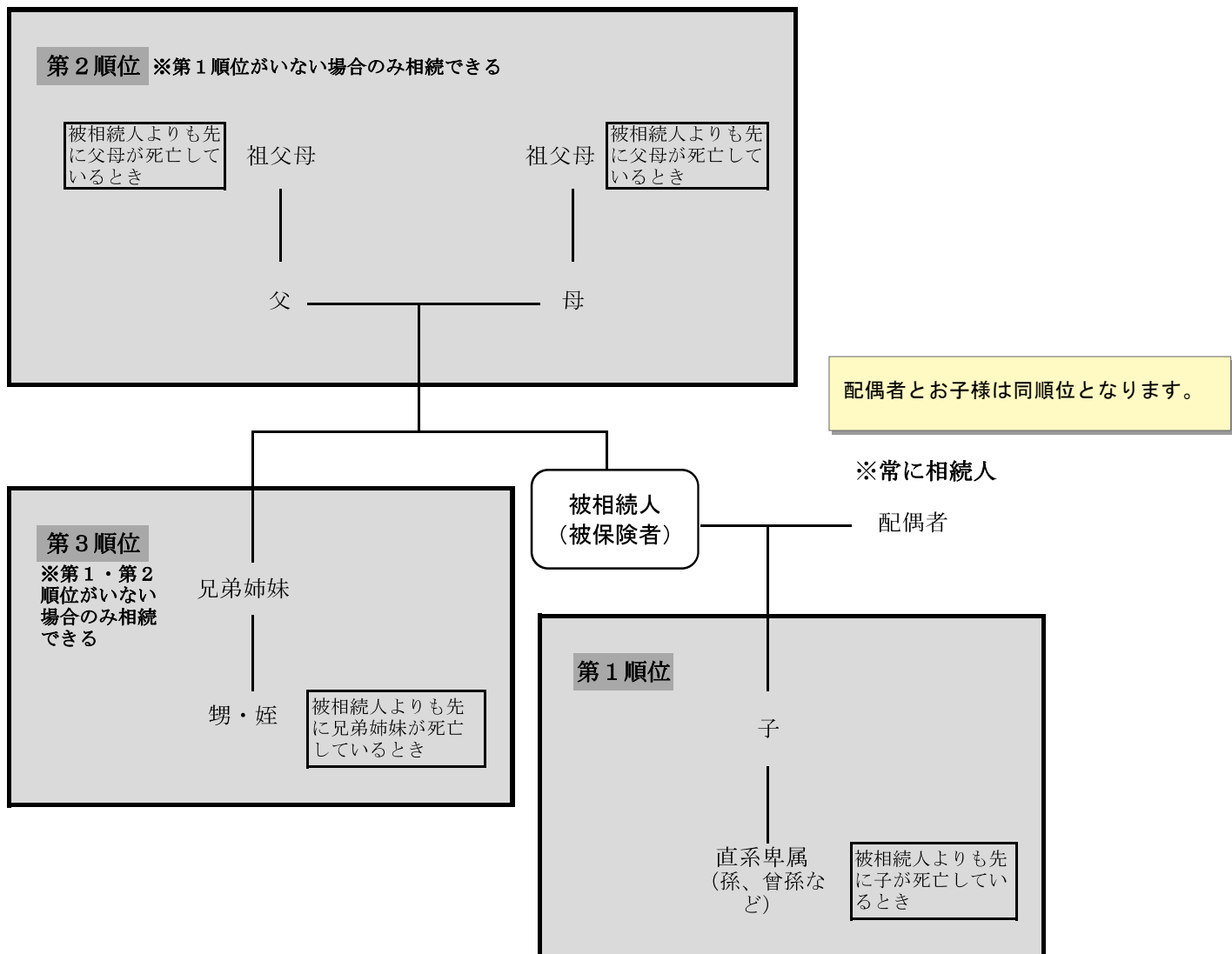
祖父母（被保険者よりも先に父母が死亡し、子も、その代襲相続人である直系卑属もない場合）

第3順位・・・兄弟姉妹（第1順位、第2順位もない場合）

甥姪（第1順位、第2順位がおらず、被保険者よりも先に兄弟姉妹が死亡しているとき）

【代襲相続】

本来相続すべき人が被相続人（被保険者）よりも先に死亡している場合に、その子孫が身代わりになって相続すること。



上記以外に認められる者

- ・ 法的に有効な遺言（公正証書遺言等）にて指定された相続人
- ・ 法定相続人となる親族が不在の場合に、「特別縁故者」として家裁の許可を得た者
- ・ 被保険者と養子縁組をしている、養父母・養子等

認められない者

- ・ 死亡した被保険者と婚姻関係にない者（内縁の配偶者、同居人等）
- ・ 被保険者と養子縁組をしていない、配偶者の子（連れ子）等